

技術審議会  
長期維持管理技術委員会(平成28年度 第1回)  
平成29年 1月5日

# 審議スケジュール(案)

構造物状態について、長期耐久性を含めて適切に評価

⇒ 今後の劣化・損傷発生を予測し、適切な維持補修計画を策定  
(予防保全・事後保全の選定)

⇒ 点検結果を踏まえたPDCAサイクル

## ①健全性評価

構造物の安全性に係る損傷を見きわめ、劣化進行を推測する  
点検指標を抽出

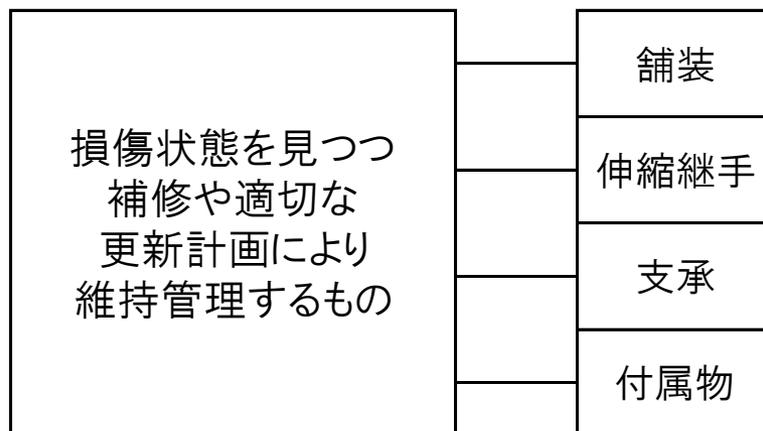
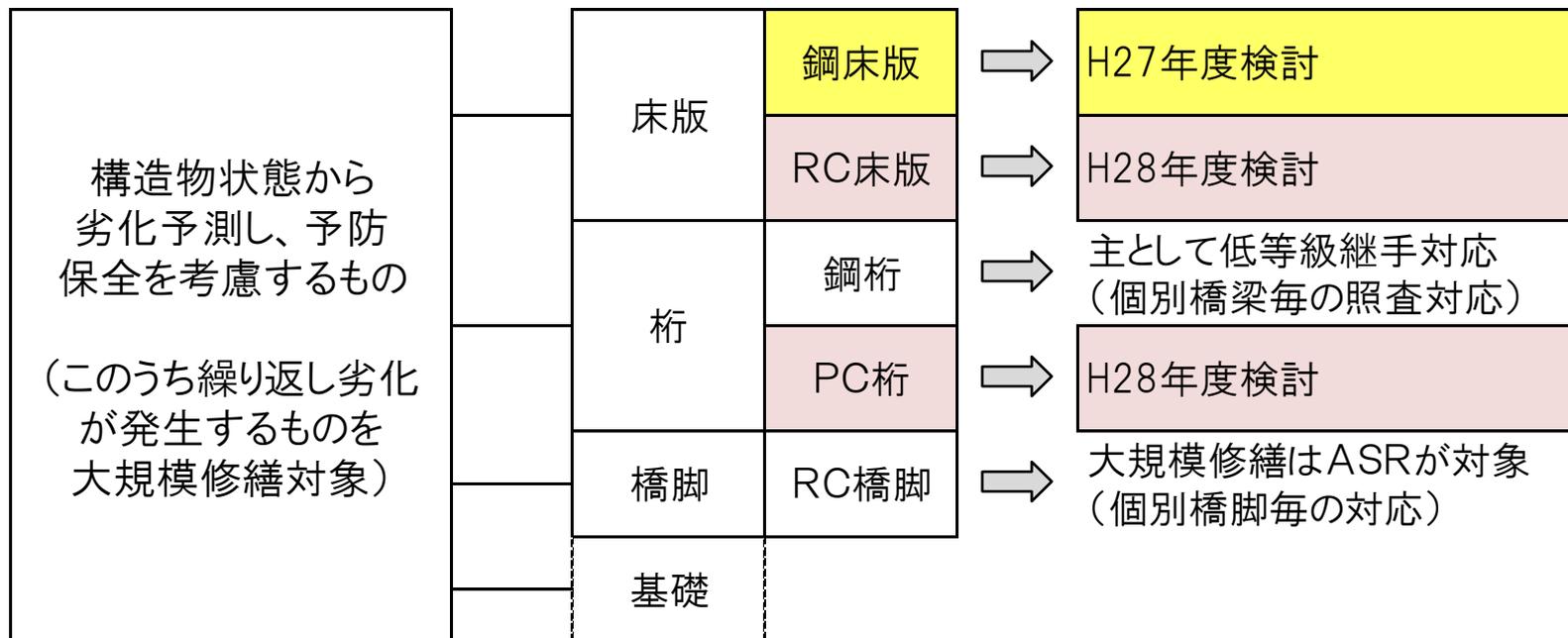
## ②劣化モデル

点検データから今後の劣化・損傷発生を推測

## ③補修計画

今後の損傷発生状態を予測しつつ、LCCの観点も取り入れ  
予防保全・事後保全を適切に区分

## ■ 維持管理システム高度化検討の対象選定



H28年度は  
**RC床版、PC桁**  
 を対象に検討

## （1）健全度評価方法

- ① 橋梁全体の健全度評価方法について、損傷の発生部位や損傷の状況などを踏まえて、精度向上を図る。

## （2）劣化モデルの改良及び大規模修繕を考慮したLCCモデルの検討

- ① 交通荷重等による損傷が想定されるRC床版、PC鋼材の損傷が想定されるPC桁を対象に、劣化要因及び劣化機構を整理し、劣化モデルの改良を試みる。
- ② 劣化モデルが構築できれば、大規模修繕を考慮したライフサイクルコスト評価モデルについて検討する。

**性能評価**  
(点検結果分析)

大規模修繕に対応する、「安全性」に係わる損傷を分類すべく、点検結果を分析

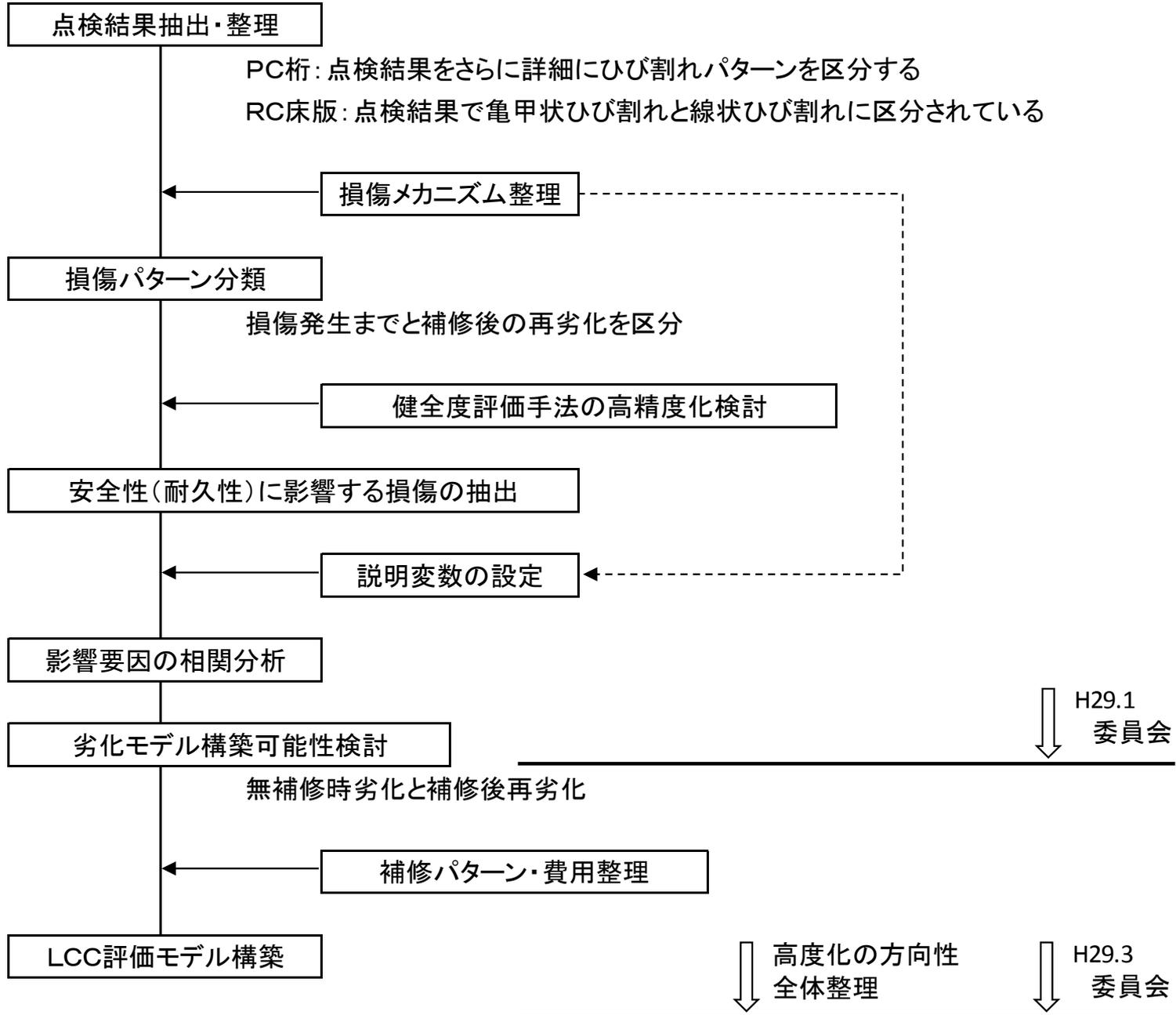
※第三者に対する安全性は「使用性」に係わる損傷に分類され通常補修対応となる

**劣化モデル**

安全性に係わる損傷に対し、想定される影響要因から劣化事象を説明できるモデルの構築検討

**LCC評価モデル**

各種補修パターンからLCC評価



		H26年度			H27年度				H28年度				H29年度～
		2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	
大規模更新・修繕事業 計画策定		事業計画策定							調査・検討				フィード バック
		7/23 委員会①	10/30 委員会②	3/30 委員会③				3/4 委員会④			1/5 委員会⑤	3/27 委員会⑥	
アセット マネジメント システムに 関する検討	健全度指標の 改良		健全度評価手法改良検討		----->				精度向上検討				検証・ 改良
	劣化モデルの 改良		10/30 委員会②	3/30 委員会③			3/4 委員会④			1/5 委員会⑤	3/27 委員会⑥		
	大規模修繕を 考慮した LCCの検討						LCC評価モデル (鋼床版)			LCC評価モデル (PC桁, RC床版)		1/5 委員会⑤	
							3/4 委員会④				1/5 委員会⑤	3/27 委員会⑥	

〈H29年度以降の委員会開催イメージ(案)〉  
大規模更新事業の検討状況に応じて不定期開催